

鳴る音



黒犬ちわわ

今まで信じていたことなんて関係なく、それは目の前で平然と起きます。

怪奇現象とは一切無縁でした。幽霊なんか信じちゃいませんでした。

怪談話を読んでも、何言ってやがんだこのヤ口と鼻で笑いながらちっとも恐がらずにいました。

仕事から帰り、いつものように寝ていました。疲れていたのぐっすりです。

突然、オルゴールが鳴り、飛び起きました。それは旅行先で買ったお土産品です。観光地の名前が入った、大量生産された真新しいオルゴールです。それが夜中に突然鳴り響いた。いったい何が起きたのかと頭が判断できずにいます。何が起こったのか、本当は理解していましたが。それまで放置していたオルゴールがいきなり鳴った。それが信じられずに頭から放り投げ出そうとしています。

鳴った時間は二、三秒でしょうか。起きる直前から鳴ってたとするともっと長いでしょう。飛び起きた瞬間、いつまで鳴るんだ早く止んでくれと、混乱した頭で叫びました。その鳴った数秒が悪夢に思えました。鳴り終わった後の無音状態は、さらに悪夢でした。暗い部屋の中、オルゴールが鳴ったという事実だけが、空間に色濃く残っている。目を閉じ再び眠ることに努力しました。きっと、湿度か外気との温度差でそうなったんだ、この部屋はよくテレビや壁がピキピキ鳴っている、それと同じだ。そう思うことにしました。そう思うと人間はよくできてるもので、疲れもありすぐに眠りに落ちました。

翌朝、日差しが入る部屋で恐る恐るそれを見ると、ただのオルゴールです。何も怖いことはありません。安堵し、会社へと出掛けました。それでその夜のことは忘れて終わりのはずでした。

一週間後、再び音が鳴ったのです。私は布団を頭からかぶり、早く止んでくれ止んでくれと願いました。

それはねじを巻く音でした。オルゴールを鳴らすための、ねじを巻くような音が、はっきりと確かに聞こえる。私は必死に目を閉じそこに誰もいないことを祈りました。